

(様式5)

調査報告書

訪問調査日	平成19年7月31日
調査実施の時間	開始 10時00分 ~ 終了15時10分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム 花すいせん (大阪府)
-------------------	------------------------

外部評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

評価調査員の氏名	氏名 日野和臣
	氏名 本願美代子
事業所側対応者	職名 管理者
	氏名 岩本美三子 ヒアリングを行った職員数 (3)人

記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。

項目番号について

外部評価項目は30項目です。
「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【評価実施概要】

事業所番号	2770700801
法人名	有限会社すずらん
事業所名	グループホーム 花すいせん
所在地	大阪府河内長野市木戸西町1-9-51 (電話) 0721-56-1283
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ 大阪支店
所在地	大阪市中央区本町4-4-24 住友生命本町第2ビル3階
訪問調査日	平成19年7月31日

【情報提供票より】(平成19年6月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 9月 1日
ユニット数	1ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	20人 常勤3人, 非常勤17人, 常勤換算9.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	5階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	管理費 1日1100 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(180,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(6月 30日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1		要介護2		2名	
要介護3	4名	要介護4		3名	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81歳	最低	77歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	追矢クリニック・高安歯科医院・寺元記念病院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

5階建てのマンションの1階部分を改修して、グループホームとして利用されている。管理者を始めとして、職員は穏やかで、また丁寧な対応を行っており、入居者も落ち着いた様子で一日を過ごされている。自立支援の考え方の下、掃除、洗濯、買い物や食事作りまで、入居者のできることは極力、力を発揮していただける様、意識した支援がなされている。当ホームを含め、地域のグループホームで連絡会を作り、サービスの質の向上にむけた情報交換を行う機会を持たれており、この点も評価したい。今後も管理者を中心として、職員個々が更に研鑽をつまれることで、入居者や家族、地域の方々から喜ばれるホームになれることを期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 金銭出納帳に確認後の家族の了解印もしくはサインが改善点としてあげられていたが、来訪時に確認頂くことで、改善にむけた取り組みが行われている。今後は、毎月、金銭に関わる報告を行うことを実施される予定である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 各項目ごとに担当職員をわけ、それぞれを確認しながら、管理者がまとめる方法により自己評価が行われている。最終的に、職員が各項目の確認が行われている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 本年7月、運営推進会議が開催されている。その際には、入居者家族代表、市職員や地域住民代表等の参加の下、事業所概要説明やサービスの取り組み状況や自治会活動状況等の報告がなされている。今後は、討議内容を更に充実させるべく取り組みたい考えを示されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族来訪時には、入居者の様子を必ず伝えるように努め、2ヶ月に1度、ホーム便りを発行し、入居者の暮らしが報告されている。その際には、個別の様子を伝えるために手紙を同封する配慮もある。これまでも家族交流会を行い、意見の収集を行ってきた経緯があり、更に交流を深めることで気軽に発言して頂ける関係の構築を目指している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会長やホームの家主、近隣住民より行事等の情報を収集し、参加することで地域との接点を持つように努めている。また、音楽療法や歌・踊りのボランティアを受け入れることで交流を図っている。

事業所名:

2. 調査報告書

主任調査員氏名:日野和臣 / 同行調査員氏名:本願美代子

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「入居者一人一人の人格を尊重し、家族的な個別ケアを通じて、入居者がごく当り前の暮らしを続けていただく事を共通の目標といたします」を理念に掲げ、サービスが提供されている。		地域密着型サービスが果たすべき役割を理解し、反映した理念の内容になっているか、会議等の機会において今一度、職員皆で話し合われることを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の意識付けができるような取り組みとして、ホーム内の各所に理念が掲示され、入居者家族等とも共有しやすい環境にある。また、会議等の機会においても、理念を触れながら、確認するようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会長やホームの家主、近隣住民より行事等の情報を収集している。地域の秋祭りの際は、ホーム前を順路にしてもらい見学できるようにしている。音楽療法や歌・踊りのボランティアを受け入れることで交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果をホームの見えやすい所へ設置して誰でも確認できるようにする配慮がある。また、前回評価での改善点等を職員皆で確認し、既に改善されている。		

事業所名:

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>本年7月に運営推進会議が開催されている。その際には、入居者家族代表、市職員や地域住民代表等の参加の下、事業所概要説明やサービスの取り組み状況や自治会活動状況等の報告がなされている。</p>		<p>運営推進会議は、制度的には2ヶ月に1回以上の開催が求められている。更に積極的に開催することで、ホームの状況を理解してもらいつつ、要望や助言を頂けるよう活動されることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市が主体となり、ケアネットワーク会議や各部会が開催され、事例を報告する等のサービスの質向上にむけた取り組みが行われている。また、毎月、空室状況を市に報告することになっている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族来訪時には、入居者の様子を必ず伝えるように努めている。また、2ヶ月に1度、ホーム便りが発行され、入居者の暮らしぶりが報告されている。その際には、個別の様子を伝えるために手紙を同封する配慮もある。</p>		<p>利用明細や金銭に関する使途に関する定期的な報告がシステム化されていなかったが、改善する方向性を示されている。その実施を期待したい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>クリスマス会の後に家族の交流会を行い、意見交換を行うことが出来る機会を設けたことがある。また、意見袋の設置など家族からの意見を頂きやすくする為の配慮も見受けられる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>グループ内での職員の異動は基本的にはない。ホーム立ち上げ当初は離職もあったが、この2年間職員の離職もなく、安定したサービスが提供されている。</p>		

事業所名:

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は法人外研修の受講を推奨しており、職員もシフトとの兼ね合いを考慮に入れながら、比較的均等に参加する機会を確保している。また、会議時に研修内容を報告する機会も確保されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ケアネットワーク会議以外の取り組みとして、近隣市のグループホームを含めたグループホーム交流会を3ヶ月に1度の割合で開催し、質の向上に向けた情報交換がなされている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人及び家族にしっかりとホームの見学をして頂き、説明し、納得して頂いた上で入居して頂くように努めている。体験入居も可能であるが、現在のところ利用者はいない。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常的な掃除、洗濯、食事準備や片付け等の役割を持って頂く行うことを心掛けている。また、会話の中から過去の経験や知識等を職員が学ぶ機会もある。</p>		

事業所名:

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時のアセスメント結果を考慮しつつ、日常会話の中で、現在の意向を伺い、把握するように努めている。また、聞き取った意向に関しては、ミーティング時の議題に上げ、その実現に向けて検討している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメント時の情報、また、入居者本人や家族の現在の意向を踏まえつつ、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>半月ごとに計画の評価を行いながら、現状を確認している。短期目標や長期目標に併せて、モニタリングや介護計画の見直しも実施されている。また、状態変化に合わせた検討は随時行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>提携医療機関との連携により、利用者に定期訪問診療を受診頂くことで、健康管理を行っている。重度化した場合や終末期においては、主治医・利用者・家族との相談の上、柔軟に対応する方針を示し、同意を頂いている。また、空室状況によりショートステイも可能である。</p>		

事業所名:

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医の継続受診、ホーム提携医療機関からの往診等、利用者・家族の希望を考慮しつつ、柔軟な支援が行われている。内科と歯科の定期訪問診療がある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホームの看取り介護の指針を示し、入居者本人及び家族に同意を得ると同時に、医師と相談しながら、ホーム内で出来る介護を実践している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>居室入室やトイレ誘導等の入居者に対しての言葉かけや対応は丁寧に行われている。これまでも、プライバシー保護に関する理解及び徹底を管理者より職員に対して促している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>生活リズムを保つ為の一定の決まりはあるが、個々のその日の気分を考慮して、出来るだけ個別に対応するように配慮している。散歩や買い物等も希望に合わせ、出かける様に努めている。</p>		

事業所名:

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は管理者が入居者と相談しながら作成している。食事は職員と入居者が一緒になって準備し、同じテーブルで同じ食事をとり、後片付けも一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	隔日の入浴支援を基本としてサービス提供が実施されている。入居者の状況により適時、対応がなされているが、夜間帯の入浴支援は職員の配置上、難しい状況下にある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の趣味や楽しみに合わせて日々の生活を送れるように支援している。編み物、花の手入れ、おやつ作りや鉄道模型制作等、様々な取組みが行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の散歩や買い物は付き添いの支援を行っている。少人数で近くの喫茶店に行き、お話をしながら気分転換を図ることもある。季節ごとに花見や公園に行き、四季を感じて頂けるように配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は極力開錠して、入居者に閉塞感を与えないように配慮している。安全面の配慮からセンサーにより人の出入りを管理している。		

事業所名:

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署員立会い及び指導の下で避難訓練が実施されている。また、マニュアル等を作成して不測の事態に備えている。</p>		<p>入居者の安全を確保すべく、今後も継続的に避難訓練を実施し、また、地域の住民にも協力を得られるように働きかけることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスを考慮しながら献立を考え、食事及び水分摂取量を確認しながら、個々に合わせた支援が行われている。また、健康状態の確認の為に、主治医による検査も定期的に行われている。</p>		<p>栄養面での専門的な見地からの確認も時には必要になると思われる。地域の保健師やボランティアに協力を仰ぎ、献立内容を確認頂くことが入居者の健康管理においても望ましいと思われ、その実施に期待したい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には、季節感のある飾りを作成し、壁面に飾られている。居心地よく過ごせるように清潔に保たれ、風通しも良く心地よい。観葉植物や花、ソファやテーブル、テレビの設置もあり、ゆっくり過ごせるよう配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベットとタンスは、ホーム側で準備されているが、入居者個々の馴染みや思い出の品が持ち込みは可能である。個々に合わせた居室環境づくりが行われている。</p>		

は、重点項目。